

私立大学図書館協会東地区部会研究部
2018年度第1回運営委員会議事録

日 時：2018年4月13日（金） 15:00～17:00

会 場：成城大学図書館 4階会議室

出席者：平井久美子（東海大学）、山田和宏（創価大学）、花上真一（聖心女子大学）、
小川渡（早稲田大学）、青木みちる（学習院大学）、武林輝暁（玉川大学）、
佐々木俊介（桜美林大学）

【事務局】新井和之、吉田博貴（成城大学）

欠席者：浅尾千夏子（慶應義塾大学）

議事概要：

一部、議題の順序を入れ替えて会議を行った。

1. 2018/2019年度研究分科会、研修分科会会員の更新結果について

資料2に基づき、分科会の2次募集について申込状況の報告があった。現時点で成立している分科会は和漢古典籍研究分科会のみであり、分類研究分科会、レファレンス研究分科会、パブリック・サービス研究分科会は規定の人数に達していないため、調整中であることが報告された。また、休会となった場合でも期の途中で人数が集まれば成立することが確認された。なお、研修分科会の申込人数は12名との報告があった。

2. 2017年度研究部決算報告について

資料1に基づき、2017年度の最終決算について報告があり、帳簿データや証憑書類を監事校である東洋大学に送付し、既に監査を終えていることが報告された。

3. 研究分科会の休会・廃会について

資料3に基づき説明があり、西洋古版本研究分科会の休会と、企画広報研究分科会の廃会が確認された

4. 2018年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について

資料4に基づき、2018年度の活動計画案について説明があった。今回の分科会更新で複数の分科会が成立したことから、2018年秋の研究会（交流会）は従来通り実施することが確認された。続いて資料5に基づき、予算案の各項目に関する算出根拠の説明があった。4月19日に行われる東地区役員会に活動計画案と予算案を提出する予定だが、今後の分科会の成立状況により、予算にも変更が生じる可能性があるとの説明があった。

5. 2018年度研修分科会特別助成金の申請について

資料6に基づき説明があり、特別助成金の申請については承認された。なお、申込者が少なかったことから、委託費については再度、交渉することが報告されたほか、今後の安定的な運営に向け、会費の引き上げなどについても検討する必要があることが確認された。

6. 2017 年度研究分科会、研修分科会の活動報告及び会計報告について
資料 7、8 に基づき説明があった。各分科会の活動報告と会計報告については事前に各委員に確認して頂いたとおりだが、各分科会からの残金については既に研究部の口座に返金済みであることが報告された。
7. 2017 年度研究分科会刊行物一覧について
資料 9 に基づき、レファレンス研究分科会のみウェブ上でアンケート調査の結果報告書を公開しているとの報告があった。
8. 2018 年度第 1 回運営委員・研究分科会代表者合同会議について
資料 10 に基づき、5 月に行われる運営委員・研究分科会代表者合同会議について説明があった。代表者が決まり次第、事前提出書類を案内し、例年通り会議当日に活動資金を渡すことが確認された。
9. 2018 年度東地区部会研究講演会について
資料 11 に基づき説明があった。両講師の講演テーマや時間配分についてはほぼ確定しており、東地区役員会終了後に加盟館宛に告知予定であることが報告された。また、5 月中旬に部会長校と会場校の下見を行った後に、当日のスケジュールや役割分担について運営委員会内で相談することが確認された。
10. 2018 年度のオンデマンド研修について
資料 12 に基づき説明があった。仕様書については昨年度の「図書コース」を基に、「雑誌コース」と「図書コース」の実施を中心に作成したことが報告された。また、両コースの申込時期をそれぞれ分ける方向で、引き続き調整することが確認された。
11. 2018 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
資料 13 に基づき説明があった。運営委員会の会場については、7 月が学習院大学、10 月が桜美林大学、12 月が早稲田大学（所沢）となり、全ての日程と会場が確定した。
12. 運営委員の交代について
資料 14 に基づき確認を行い、次回、訂正版を配布することとなった。
13. その他
研究部担当理事校で引き継いでいる資料の保存について意見交換を行った。2012 年度に当時の部会長校が引き継ぎ資料を整理した際は、全ての資料を電子化したことが確認できた。しかし、研究部については資料が膨大で全てを電子化するには相当な費用がかかるため、資料の選別などについて引き続き意見交換することになった。

最後に、本日の資料等で、字句や文言等の修正が必要な個所については、研究部担当理事校で修正の後、再度メールで発信する事を確認し、閉会した。

以上